



【新陰流小史】

新陰流は戦国時代の武将上泉伊勢守信綱＝表紙木像＝によって、足利時代末期に創始された日本剣術の筆頭に位置する流派です。流祖上泉伊勢守は上州の上泉城主の次男として生まれ幼少より香取神道流、念流等の兵法を習得するかたわら、小笠原流軍法軍敗の相伝を受けるなど刀槍の術に優れると共に軍略面でも才能を発揮しました。また禅宗を熱心に修行したことも伝えられています。長じて陰流の祖愛洲移香齋から陰流の奥義を授かりその中から極意として「転」（まるばし）」を抽出して新陰流を創始しました。従つて流名は「新陰流」が唯一正当な名称です。後年普及のため上洛し、その兵法を将軍足利義輝に上覧し天下一の感状を賜りました。また、正親町天皇天覧の栄に浴し、従四位下に除せられました。

その間足田豊五郎、神後伊豆守、柳生石舟斎、丸目蔵人佐を始めとする技量抜群の門人を輩出し、近代剣法の祖、剣聖と崇められています。その後新陰流二世を継いだ柳生石舟斎は新陰流を更に整備し、その子柳生宗矩が徳川將軍家師範となるに及び、わが国剣術の筆頭流派として新陰流の盛名は別格のものとなりました。

新陰流はさらに尾張藩の兵法師範として近代剣法への改革を図った三世柳生兵庫助を祖として尾張藩に伝わりました。その後不世出の天才を謳われた柳生達也齋、中興の祖柳生巖春、維新の荒波にめ8チズ道統を守り抜いた柳生巖周、近衛師団師範として活躍した柳生巖長、その高弟渡辺忠敏へと継承され現在に至っています。

【新陰流正伝上泉会とは】

新陰流正伝上泉会は新陰流を創始した流祖上泉伊勢守信綱を尊崇し、その足跡を顕彰することを目的として設立されました。そして同時に日本の伝統武道中の筆頭流派である新陰流を技術的にも文化的にも創流当時の形で正しく承継していくことを最重点において活動しています。

新陰流は柳生家が代々剣術師範として、尾張藩に伝えました。しかし流祖伊勢守、二世柳生石舟斎が伝えた本伝と云われる本来の遣い方は現在宗家ではもはや大部分が伝わっていないようです。この本伝はわずかに柳生巖長師の高弟筆頭であった渡辺忠敏が伝え、その系統の会派でのみ稽古されています。当会はこの本伝の遣い方を正しく継承しており、これを後世に誤りなく伝えて行くために活気溢れる稽古を続けております。また同時に新陰流の稽古を通じて各人の人格向上、健康増進にも大いに役立てようと考えています。

毎年開催される「新陰流兵法演武大会」は全国の新陰流を修行する者が日頃の稽古の成果を発表する場として多数の参加で真剣な演武が行われます。

新陰流は型の稽古が主体であるうえ、袋しない（割り竹に革袋をかぶせたもの）を使用するため危険がなく年齢、性別を問わず誰でも参加でき、さらに袋しない以外には防具等の道具が不要で、費用がかからぬ等数多くの利点があります。稽古は全くの基本から始めますので、剣道その他武道・スポーツ経験は不要です。現在東京・千代田区と埼玉・さいたま市及び静岡県三島市で稽古が可能です。

なお、当会では新陰流と併せて兄弟関係にある制剛流抜刀術および柳生十兵衛の創始による新陰流仕込杖（十兵衛杖）の稽古も行います。



【制剛流抜刀術】

制剛流は本来は柔術の流派で、戦国末期の人、水早長左衛門信正が創始しました。制剛流は、柔、捕手、小具足、組打、居合、縄術等の多様な内容を含む流儀です。水早の門人梶原源左衛門直景が、尾州藩柔術師範となったため、柔術諸流中での主流のひとつとなりました。尾州の制剛流はその後尾張藩士長岡家に受け継がれました。特に新陰流の補佐を任じた達人桃嶺長岡房成は新陰流の理論を元に制剛流抜刀術を大成しました。

制剛流抜刀術は、居合の技と立合の技とに大別されます。制剛流の刀法はすべて桃嶺師が考案した「新陰流外伝試合勢法」に組み入れられているので、新陰流兵法を学ぶ者はおのずと制剛流抜刀術も学ぶことにもなるわけです。

【新陰流仕込杖】

新陰流仕込杖は江戸柳生第二代柳生十兵衛によって考案された杖術で、別名十兵衛杖とも言われています。仕込杖とは鋼鉄の芯を和紙で幾重にも張り固め漆を塗った四尺の杖で、この杖で新陰流の技法を使った型が十兵衛杖です。

この技法を伝えた大和柳生家の家臣莊田喜左衛門の末裔莊田鶴友から、失伝寸前に新陰流二十世の柳生巖長、その高弟渡辺忠敏両師が受け継ぎ失伝を免れたのです。

十兵衛杖の原型は五本しかありませんが、その後、型が増補され現在の型になっています。技法の内容は新陰流そのものであるため、これを稽古することによって新陰流の奥深く、幅広い内容を学ぶ大きな助けとすることができ、また刀法の裏技を体得できるようになっています。



新陰流正伝上泉会入会案内

〔連絡先〕

▽東京道場（師範島正紀）

千代田区内神田2-1-2第5中央ビルB1 電話=090-2670-1471（長谷川）

メール=uih44295@nifty.com

稽古曜日=月曜日、土曜日

▽大宮道場（師範長島常光）

さいたま市北袋町1-135-1長島方 電話=048-643-1318（長島）

メール=1218789201@jcom.home.ne.jp

稽古曜日=土曜日、日曜日

▽三島支部（支部長大西和夫）

静岡県駿東郡長泉町下土狩1211-9大西方 電話=055-988-0374（大西）

メール=ohnishi, kazuo@nifty.com

稽古曜日=日曜日

〔費用〕

入会金=12000円（上泉会入会金、教範代含む）

年会費=5000円（入会時不要。入会翌年度の1月以降に納入。高校生以下は半額）

月会費（各道場により異なります）

〔用具〕

◎袋しない／◎稽古着（剣道着・居合道着・柔道・空手道着等可）／◎袴／◎帯

○木刀（連也ごしらえ）／○居合刀／○杖

（◎=入会時必要 ○=将来必要）

